

## 1) なぜリフォームが必要なのか？

現在、急激に進む日本の高齢化。 その高齢者の住生活に対する思いで共通するのは、『長く住み慣れた家庭・地域で暮らしたい。』という願いです。

一方で日本の住宅には高齢者にとって欠点が非常に多いです。

- ①段差が多い。(玄関の上りかまち、洋室と和室との間の段差など)
- ②廊下・出入口の中が狭い。(車イスが通りづらい)
- ③部屋が小さい。特にトイレ・浴室が狭い。
- ④和式トイレが多く、立上り動作などの負担が大きい。 ... など

実際に65歳以上の事故死の内、家庭内事故は約30%を占め、その内住宅が原因とされるものが半数を占めています。

築年数が古い家は、老朽化や陳腐化等さまざまな問題を抱えていることが多いため、リフォームする効果も大きくなります。

## 2) 高齢者住宅リフォームのニーズ

高齢者の方の身体機能レベルに応じて、車イス仕様なのか、重度介護仕様なのか、リフォームのレベルが変わってきます。 また、お一人お一人の健康状態も違いますので、ただ手すりを付ければ良いというものではありません。

トイレに手すりを付けたところ、立つ時にその手すりを使い、握力がない為、手が滑って尾てい骨を便座に打ち骨折した、という事例もございます。

どのようにリフォームするか計画する段階では、身体機能・健康状態についてよく理解し、ご自分に必要なリフォームを考える事が重要です。

## 3) 高齢者住宅リフォームのポイント

- . 段差をなくす      バリアフリーの基本です。段差をなくすことで事故を未然に防ぎます。
- . 手摺をつける      階段、廊下、玄関、トイレ、浴室、外部アプローチなど要所に適切なもの設置。
- . 扉から引戸に      引戸にすることにより車イスでも容易に開閉動作ができます。取手も握りやすい大型に。
- . ヒートショック対策      冬場に温かいリビングから寒い廊下に出たときや、脱衣所から浴室に入ったときなど、温度差によって血管が急変動し、心筋梗塞等を起こす恐れがあります。
- . 明るい足元      小さな段差もつなづきやすくなりますから、階段、廊下など足元を明るくする事も重要。
- . 滑らない素材      床の仕上げ材料も滑らない素材等、材質もリフォームの重要なポイントです。

高齢者がいきいきとした日常生活を送るためには住宅改修が有効ですが、そのためには具体的な事例を知るなどのきっかけが必要です。

この「岐阜県高齢者向け住宅改修事例集」は、安全で便利な住まいとするために住宅を改修した事例を、県民の方々に向けてわかりやすくまとめたもので、介護保険などの支援制度が適用できる場合や、介護を予防するためのものなど幅広い事例を扱っています。

高齢者の身体状況や住宅の仕様は様々なので、住宅改修も十人十色の「注文品」であるといえます。そこで次のことに注意し、工夫して改修を進める必要があります。

- 高齢者や家族と設計者等との信頼、協力関係
- 高齢者の希望の反映
- 高齢者の日常生活や身体特性の理解
- 改修の目的の明確化

みんなが満足できる住宅改修によって、  
高齢者の方にとって安全で使いやすい住まいと、  
家族みんなの快適な暮らしの実現を願って...

